



2021年11月1日

各 位

会 社 名 カンダホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 原島 藤壽
(コード：9059、東証第二部)
問合せ先 経理部長 田中 隆雄
(TEL. 03-6327-1801)

**第2四半期連結業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正、
剰余金の配当（中間配当）の修正並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ**

2021年7月30日に公表いたしました、2022年3月期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）の業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月期の通期連結業績予想、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異（2021年4月1日～2021年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 21,400	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 745	円 銭 69.22
今回実績（B）	23,005	1,550	1,548	962	89.42
増減額（B－A）	1,605	350	348	217	
増減率（％）	7.5	29.2	29.0	29.1	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2021年3月期第2四半期）	21,562	1,094	1,158	766	71.19

(2) 2022年3月期通期連結業績予想の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	43,600	2,520	2,500	1,550	144.01
今回発表予想 (B)	45,800	2,870	2,850	1,770	164.45
増減額 (B - A)	2,200	350	350	220	
増減率 (%)	5.0	13.9	14.0	14.2	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	44,035	2,364	2,475	1,501	139.48

(3) 差異及び修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、国内部門では、食品・衛生用品・日用雑貨等の貨物量が引続き堅調に推移する一方、国際部門につきましては、世界経済の回復基調により貨物量がコロナ禍以前の水準に復調してきました。

また、利益面につきましては、引き続き適正運賃の確保、社会的なインフラとしての意識を強くした営業活動等により前回発表予想を上回る見込みとなりました。

通期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染再拡大の可能性や原材料価格、原油価格等の高止まりによる経済への影響等が見通しにくい状況ではありますが、第2四半期連結業績が当初予想を上回ったことを主要因として上記のとおり修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 剰余金の配当(中間配当)の修正及び期末配当予想の修正について

(1) 2022年3月期の剰余金の配当(中間配当)の修正及び2022年3月期期末配当予想の修正

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
配当予想	14円00銭	14円00銭	28円00銭
今回修正予想		16円00銭	32円00銭
当期実績	16円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	12円00銭	14円00銭	26円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識し、業績動向等を勘案したうえで安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。2022年3月期の剰余金の配当(中間配当)につきましては1株当たり14円を予想しておりましたが、上記の業績実績を踏まえ、当社グループの経営状況及び資金需要等も総合的に勘案し2円増配の16円に修正したいと存じます。また、2022年3月期の期末配当金の予想につきましては、1株当たり14円を配当予想としておりましたが、上記の業績予想の修正を踏まえ、当社グループの経営状況及び資金需要等も総合的に勘案した結果、2円増配の16円に修正したいと存じます。これにより、1株当たり年間配当金は、合わせて計32円となる予定であります。

以上